



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」
Engage Rotary Change Lives

2013-14年度 RI会長/ロンD.バートン RI.D2590ガバナー/市川緋佐磨 横浜旭RC会長/安藤公一

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日/12時30分~1時30分



2013年11月6日 第2125回例会 VOL. 45 No. 17

■司 会 副 SAA 市川 慎二

■開会点鐘 会 長 安藤 公一

■齊 唱 君が代、奉仕の理想

SL 市川 慎二

■出席報告

会 員 数	35 名	本日の出席数	23 名
本日の出席率	82.14%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

佐藤、鈴木、増田、斎藤、二宮（麻）

■他クラブ出席者

佐藤（横浜鶴峰 RC）、増田（東京新橋 RC）、
後藤、青木（地区）

■11月誕生記念祝



安藤 公一 会員 11.4

青木 邦弘 会員 11.21

■米山功労者



新川 尚 会員

福村 正 会員

■会長報告

2週間ぶりの例会ですが、かなり久しぶりの感じがします。2週間前はダブル台風に気を揉んでいたのが嘘のような秋らしい陽気が続いています。朝晩は随分と冷え込んで参りました。そろそろインフルエンザの予防注射を受けておこうかと思っています。

11月3日にプロ野球では楽天ゴールデンイーグルスが日本一となりました。奇しくも大震災の3月11日をひっくり返した日付となったわけです。この日本一は、復興に取り組まれている東北地方の被災者の方々に大きな勇気を与えたものと思います。我々も災害

復興委員会のリードの下、復興を支援する活動を続けています。更に力を入れて取り組んで行きたいと考えています。

その活動の一環として来年1月12日(日)に第3回チャリティーロックコンサートを計画しており、第1回の打合せを千葉社会奉仕委員長、福村さん、新川さんを中心に11月1日(金)に開催しました。あと2ヶ月です。皆様のご協力をお願い致します。

今月は、ロータリー財団月間です。今日は新川さんから大幅な変革を進めている財団のお話を頂けます。皆さん良く聞いて理解を深めてください。

当初のプログラム上ではクラブ協議会となっておりましたが、これは間違いでした。お詫びして訂正申し上げます。

○地区関係

1) 11月1日(金)の雑誌委員長会議への安藤達雄会員のご参加お疲れ様でした。

2) 11月2日(土)に交換留学生オリエンテーションが開催されました。後藤さん、青木さんご参加ありがとうございました。

3) 11月15日(金)クラブ奉仕委員長会議が開催されます。新川さん宜しく申し上げます。また、同日夜に会長幹事会が予定されていますので、会長幹事で出席して参ります。

4) 米山奨学生・学友年末パーティーの案内が来ております。11月24日(日)18時よりキャメロットジャパンで開催されます。申込締め切りは11月18日ですのでご興味のある方は福村幹事までお申し付け下さい。

5) 地区大会参加に対するお礼を市川ガバナーより頂きました。

6) 2月のRYLA開催案内が届いていますので、回覧致します。

○クラブ関係

1) 吉野さんが肋骨を骨折されたとお話を伺いました。治療の期間は例会をお休みされるとのご報告を頂いております。一日も早い完治をお祈り申し上げます。

2) ラグビー早明戦(国立競技場)12月1日(日)14時を一緒に観にいきませんか?ご興味

のある方は、今月中に安藤公一までご連絡下さい。バックスタンドA指定席¥2,500を押さえています。あと3枚ほど余裕があります。試合終了後ユーミン(松任谷由美)がノーサイドを歌いに來ることが決まりました。

3) 本日、夕方18:30より理事役員会を事務所で開催します。

4) 国際親善奨学生の島田彩子さんからのレポートを頂きましたので、回覧しておきます。

5) 先々週卓話を頂いた渡辺一雄様よりお礼のハガキを頂きました。、回覧しておきます。

6) 明日はAKS会ゴルフコンペです。ご参加の皆様の奮闘をお祈りします。

■幹事報告

例会変更のお知らせ

○横浜瀬谷ロータリークラブ

日時 11月29日(金)夜間例会

点鐘 18:30

場所 あいしま食事センター

○神奈川ロータリークラブ

日時 11月4日(月)定款により休会

日時 11月18日(月)夜間例会 点鐘 18:30

2,500回記念例会

場所 崎陽軒本店

日時 12月16日(月)→18日(水)夜間移動例会

点鐘 18:30 クリスマス家族会

場所 ベイシェラトンホテル&タワーズ

日時 12月23日(月)定款により休会

日時 12月30日(月)休会

■雑誌委員長会議報告 安藤 達雄

日時 11月1日(金)15時~17時

場所 メモワールプラザ ソシア 21

ロータリーの友地区代表委員、桑原薫さんが開会の辞で

1) ロータリーの友7月号に松宮RI理事が「例会の回数を少なくしようという提案が否決されたが、次回同じ提案がなされた場合、必ずしも否決されるかどうか分からない。例会に出席するよりも奉仕事業に参加する方が大切ではないか。ロータリーも変革の時期に入っていることは間違いない」

2) 奉仕の理想が1911年に奉仕の理念に変

わった。とのことでした。

2590 地区 8 分区ありますが、分区毎にテールミーティング、雑誌のことは棚上げで意外でした。

テーマは「会員増強に貢献しよう」で、RC に入りたいと思うような魂をゆさぶるようなイメージを短い言葉であらわせる言葉を討議して各ガバナー補佐に発表して頂きたいということになりまして、各分区毎に討議しまして発表があったのですが、参考になったものだけお知らせいたします。

入会メリットとして

- ①異業種の人との交流ができますよ
 - ②会社の顧問が会員の数だけいますよ
 - ③自分を鍛えられるよ
- クラブの活動として
- ④地区補助金を使って奉仕活動を行い認知度を高める
 - ⑤奉仕活動の経歴をパンフレットにして配布する
 - ⑥体験例会にお誘いして後のフォローがなされていないので、もっと積極的にフォローするようにしたい

等々参考になることが多々ありました。

■区民まつり収支報告

東日本大震災復興支援委員会 関口 友宏

○旭ふれあい区民まつりの収支

売上 米 300 個	150,000 円
麵 100 個	50,000 円
募金	2,700 円
合計	202,700 円の収入

支払を済ませた残金 12,700 円は、年末のクラブでの募金とチャリティーコンサートでの募金を合わせ、義援金と致します。

■社会奉仕委員会 千葉 和裕

11 月 1 日(金) 18:30、クラブ事務所にて委員会を開催。

議題: 1/12 に開催される第 3 回チャリティーコンサートの打合せ

- ・進行の割り振り
- ・必要経費、予算
- ・災害復興支援委員会への協力要請

■ニコニコ BOX(会員敬称略)

安藤 公一/①誕生日のお祝いを頂きありがとうございます。②楽天の日本一を祝して。③新川さん財団の話、宜しくお願いします。

福村 正/①来たる 18 日夜テレビ朝日のタケシの TV タックルという番組で有床診療所の現状として左近山中央診療所が紹介される予定です。②新川さん、卓話宜しくお願いします。③千葉さん、理事長杯優勝おめでとうございます。

漆原恵利子/①兄の通夜、告別式には皆様においで頂きありがとうございました。今後共相変わらずよろしくお願い致します。②お誕生日にきれいなお花をありがとうございました。

綿貫 守一/今回の地区大会にて長寿の祝をいただき、なんとなく改めて胸があつくなった様な気がします。

青木 邦弘/商大高校バザーへの協力ありがとうございました。現金 14,000 円と多数の品物を 11/1 に届けました。

安藤 達雄/新川さん、本日の卓話ごくろうさまです。

岡田 清七/新川さん、財団月間卓話よろしく宜しくお願いします。

吉原 則光/好天に恵まれ絶好の例会日和となりました。新川さん、卓話よろしく申し上げます。

市川 慎二/新川さん、卓話宜しくお願い致します。

田川 富男/R 財団資金、出来る協力の一つです。友好的に使用して下さい。

杉山 雅彦/①一週休会でしたが、今日は久々の感じがします。皆様お元気そうで何よりです。②新川会員、卓話楽しみにしております。

五十嵐 正/①矢田先生、先日はお世話になりました。とてもリラックス出来て良い一日になりました。有難うございました。②新川さん、卓話楽しみです。

北澤 正浩/新川さん、卓話よろしくお願い致します。

川瀬恵津子/千葉さん、大洗の理事長杯、優

勝おめでとうございます。すごいわねー！

関口 友宏／千葉さん、理事長杯優勝おめでとうございます。私も白状します！横浜カントリークラブで、ホールインワンを出しました。

太田 勝典／千葉さん、大洗ゴルフクラブ理事長杯優勝おめでとうございます。次の目標は日本アマチュア選手権ですね。

千葉 和裕／10/27、大洗ゴルフ倶楽部に於いて理事長杯で優勝しました。45 ホールのマッチプレーで疲れしました。詳しい話は12月の卓話で披露させていただきます。

■卓話「ロータリー財団月間」 新川 尚



ロータリー財団の未来の夢計画とは

2017年にロータリー財団は100周年を迎えます。この100周年を迎えるにあたって、ロータリー財団をもう一度見直し、地代のニーズに合ったものに変えていこうとするのが、2013-14年度からスタートするロータリー財団の未来の夢計画です。

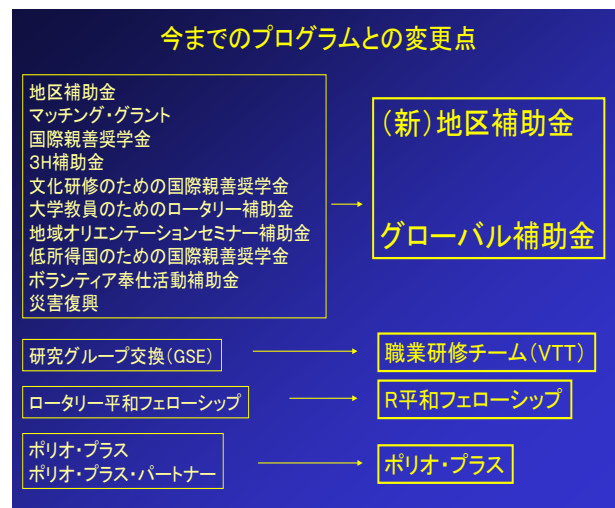
これまでのロータリー財団は、プログラムの数が多く、使い勝手が悪かったり、複雑で分かりにくいという意見がたくさんありました。

そこで世界中のロータリアンにもアンケート調査を行い、もっと地区にいろいろな権限を移行するとともに、ロータリアンがよりロータリー財団を身近に感じていただけるようにとの思いで、2005年の国際ロータリーの100周年を機に、この未来の夢計画の準備がスター

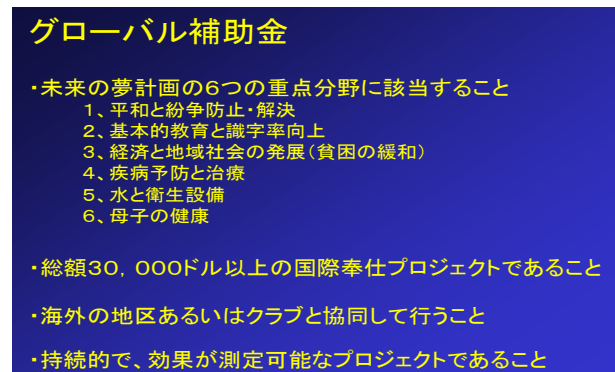
トしました。

未来の夢計画では、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修といった、従来からの主な奉仕の機会が残される一方で、この新モデルによってプログラムが簡素化され、クラブと地区がより持続性の高いプロジェクトを実施できるようになります。これまでは、大規模で影響力の高い活動に充てられた財団の補助金は、プログラムの年次予算の20%にすぎませんでした。未来の夢計画では、この割合を80%に高めることを目標としています。この変更は、ロータリーが国際奉仕や人道的奉仕におけるリーダーとなることを促進します。

新しい補助金モデルでは、ポリオ・プラスとロータリー平和フェローシップを除き、これまで12種類あった補助金が、3種類になります。



また、この未来の夢計画の導入によって、
1) 地区補助金は(新)地区補助金となり、分配率と使用内容が変わり、地区で使用できる補助金は大幅に増えます。
2) グローバル補助金の新設されます。



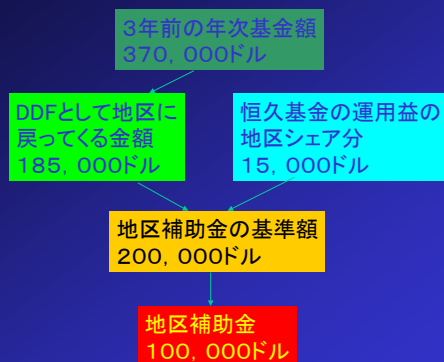
地区補助金

- ・グローバル補助金に該当しないプロジェクト
- ・ロータリー財団の使命に沿ったプロジェクト
ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすること
- ・ロータリアンの直接参加を含むプロジェクト
- ・総額500ドル以上のプロジェクト

地区補助金審査の方針

1. 受益者以外への波及効果と持続性
2. 独自性(ロータリーらしさ、ユニークさ)
3. ロータリアンの主体性と関与度
4. 受益者の参加と地元協力団体との協力度
5. ロータリー・ファミリー等のネットワーク活用度
6. 事前調査の充実度
7. プロジェクトの広報とメディア活用計画

地区補助金の仕組み



クラブが準備すること

- ・MOU(覚書)の取り交わし
- ・補助金管理および参加資格に関する研修「補助金管理セミナー」参加する
- ・前年度の2月～4月に補助金申請を行う
(グローバル補助金は通年受付)
- ・プロジェクト毎に補助金専用の銀行口座の開設

シェア・システム

2009-10年 野坂年度	寄付年度			
2010-11年 川野年度	1年目 確定年度	寄付年度		
2011-12年 上澤年度	2年目 計画年度	1年目 確定年度	寄付年度	
2012-13年 露木年度	3年目 実行年度	2年目 計画年度	1年目 確定年度	寄付年度
2013-14年 市川年度		3年目 実行年度	2年目 計画年度	1年目 確定年度
2014-15年 大野年度			3年目 実行年度	2年目 計画年度

地区補助金の基準

前提 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額が120ドル以上

結果 3,000ドルまたはプロジェクト総額の80%のいずれかの低い額を上限に地区補助金支給

ただし、各クラブからの応募額の合計が、地区資金支出予定額を下回る場合は、上限額をなくし、審査の上、決定する年次基金が一人当たり120ドルを下回るクラブは、上限額を下げることもある

無資格 3年前の年次基金の一人当たりの平均寄付額が0ドルのクラブは、地区補助金の参加資格がない

3) クラブの計画・申請・承認は、すべて前年度に行います。

未来の夢計画によってロータリー財団は、私たち全てのクラブのための財団になります。今までのように財団独自のプログラムを消化すれば良いプログラムから大きく変化します。つまりロータリアンの為の財団に変わるわけです。プログラムも各クラブのロータリアンが自ら創造し、かつ、自らが活動するものになると言っても良いかと思えます。

寄付のお願い

目標

- ・年次基金(年次寄付)一人120ドル
- ・恒久基金(ベネファクター)一～二名

■次週の卓話

ナムフォン・ナラサウッドさん
(青少年交換留学生)

週報担当 内田 敏

学校生活

2012-13 年度国際親善奨学生 島田彩子
(フィンランド、オウル大学教育学部)

こんにちは。フィンランド・オウルに留学している島田彩子です。夏で年度が切り替わり、新学期は勉強がとてとても忙しく、すっかりご報告が遅くなってしまいました。でも勉強したいことがあるのは元気な証拠、そして何よりも、勉強できる環境をロータリーの皆様に与えていただいているのは、非常に恵まれたこと。一日一日を大切に、ここで学べることをできる限り学んでおきたいと思いながら過ごしています。

さて今日はそんな学校生活についてご紹介させてください。私が勉強しに来た所は、オウル大学の教育学部にある国際的な修士課程です。プログラム名を『教育とグローバリゼーション』と言い、グローバル化する今日の社会状況の中での教育の在り方について学び、そして自分で批判的に考える能力の育成を目的としたプログラムです。

グローバル化は人類に様々な恩恵を与えていると同時に、貧困格差の拡大や環境問題、そして経済効率第一主義など様々な問題も生み出しています。そしてそんな時代の教育は、これらの世界的な問題の解決を可能にする人材の育成に責任を負っています。とても重大な責任です。今、教育学の分野で議論されているのは、既存の枠組みの中で批判的に考えたり問題解決を行うだけでは、根本的な解決にならないということです。そこで、既存の枠組みそのものについて批判的に考察できる人材育成の方法を探っています。(これは実は簡単なようでいて、実はとても難しいのです。なぜならば人は必ず何かしらの思考の枠組みを持っていて、それを通してのみ考えることが可能だからです。その、自分が持っている枠組みを通して考えながら、その思考の枠組み自体を批判的に吟味する・・・どうしたらそんなことが上手にできるのでしょうか。)そしてこの議論は、異なる文化の人々＝異なる思考の枠組みを持つ人々がコミュニケーションすることに、ひいては平和教育の基礎となるような分野です。

私はこのように批判的な思考を育てる教育に、視覚芸術がどのように利用できるかというテーマを研究しています。異なる文化の人々、異なる思考の枠組みを持つ人々のコミュニケーションに、言葉を越えたコミュニケーションを可能にする芸術が役立つ例はたくさん挙がっています。しかしその実例の理論化と、それを基にした教育手法の開発はまだまだ進んでいません。将来この分野で社会に貢献できるよう、今しっかりと勉強しておきたいと思います。

クラスメイトは 20-40 代、職業の経歴も様々で、お互いに良い刺激になります。育った環境や宗教も違い、話題が絶えません。写真は左からアメリカ、オーストラリア、日本、ドイツ、イギリス、ロシア、日本(私)、ロシア、メキシコ、インドネシア、パレスチナ、ロシアのクラスメイト達。

